




H28 大鹿村小学校 砂防現場見学会

着	発	場所	行動	目的	現地状況等
—	9:00	大鹿小学校	・出発		  
9:05	9:30	砂防ステーション	・挨拶・事業説明:5分 ・ビデオ学習:10分 ・模型を使った説明5分 ・トイレ等:5分	・「砂防ってなーに?」を使用し、砂防事業の概略を理解してもらう ・昭和36年の災害で、大鹿村がどのような被害を受けたかを学ぶ	
9:40	10:30	塩川床固工群工事	・説明・見学:15分 ・現場体験(※1):60分	・工事現場の見学を通じて、実際に何が行われているのかを知ってもらう ・普段関わる機会のない「現場内で行われているコト、モノ」へ直に触れ、体感してもらう	
10:40	11:25	大西原床固工群(大西公園側)	・説明:5分 ・ドローンによる大西山崩壊地の映像10分 ・魚放流、記念撮影:20分	・大西山の崩壊地の状況 ・魚の放流を通じて自然の大切さを感じ取ってもらう	
11:30	—	大鹿小学校	・到着		

※1 現場体験について

【重機に乗ってみよう】

- ・土砂を掘る、均す、盛る、削るなど、非常に多くの場面で活躍する重機である「バックホウ」に搭乗して頂きます。
- ・見て、触れて、動かすことで重機のスケールを体感すると共に、用途に合わせて様々な機能を使い分けている事を知ることができます。
- ・搭乗写真が撮れる時間を可能な限り確保します。



【測量をしてみよう】

- ・現場では建造物の長さや高さをどのように測っているのか理解するため、実際に現場で使用している「光波計」という機器を使って距離と高さを計測します。
- ・測量結果の精度を確認できるよう、あらかじめ正解を用意しておき、結果と比較します。
- ・作業と役割を分担し協力することで連帯感や達成感を共有しつつ、標高の概念を感覚的に学ぶことができます。



【石やコンクリートに穴を開けてみよう】

- ・今回の現場では、現地で発生した石に穴を開け連結させたものを護岸として使用します。
- ・硬い石やコンクリートに穴を開ける体験をしてもらうことで、現場での作業手順などを理解してもらいます。